

YAMAGUCHI SAISEIKAI SHIMONOSEKI GENERAL HOSPITAL



社会福祉法人 済生会支部
山口県済生会下関総合病院

〒759-6603 山口県下関市安岡町8-5-1
TEL.083-262-2300 FAX.083-262-2301
<https://www.simo.saiseikai.or.jp/>



 バスをご利用の場合

県道247号線(長安線)の路線バス全てが済生会下関総合病院へ乗り入れております。
新下関駅と安岡駅間では増便して運行されています。



JR山陽本線・新幹線をご利用の場合

新下関駅(東口)下車、バスで安岡駅方面へ乗車(約15分)

JR山陰本線をご利用の場合

安岡駅で下車、バスで新下関駅方面へ乗車(約10分)



お車をご利用の場合

下関ICを豊浦方面へ約20分

外来休診日 土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始12月29日～1月3日

診療時間 8:30～17:00
※急患の場合はこの限りではありません。

受付時間 午前/8:30～11:00
午後/各外来にお問い合わせください。

病 院 案 内



社会福祉法人 済生会支部
山口県済生会下関総合病院
YAMAGUCHI SAISEIKAI SHIMONOSEKI GENERAL HOSPITAL





地域に根ざした真心の医療、 安心と信頼を守ります。

当院は明治天皇の発出された濟生勅語により設立され、濟生会の「施薬救療」の精神を受け継いだ、大正13年に開設された下関診療所が母体です。戦後、社会福祉法人濟生会下関病院となり、今日まで地域医療の中核を担う急性期病院として成長してきました。特に平成17年(2005)に安岡町に新築移転してからはヘリポートも付設し救急体制を強化し、地域の医療機関との連携もさらに強固なものにしてまいりました。臨床研修指定病院・地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・山口県災害拠点病院・地域周産期母子医療センター・小児救急医療拠点病院等多数の指定を受け、現在30診療科からなる373床の病床を有する高度急性期病院として、最近では血液浄化センターの拡充や心臓血管センターの設置、山口県西部地区の公的病院では初めてハイブリッド手術室も完備しました。

現在、極めて変貌を遂げる時代の中で、当院の基本理念にある心の通う質の高い医療を提供すべく、今後も職員一丸となって地域社会の皆様や先生方に信頼され、真の満足をして頂ける病院づくりをしてまいります。

院長 **森 健治**



明治天皇



総裁：秋篠宮皇嗣殿下



露にふす 末野の小華 いかにと
あさたかか わがこころかな

この歌にちなんで、いつの世にも
その趣旨を忘れないようにと、撫
子の花に露をあしらったものを、
大正元年以来、濟生会の紋章とし
ています。

濟生会について
濟生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。
100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約63,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を濟う
- 医療で地域の生を守る、
- 医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇……悩むすべてのいのちの虹になりたい。
濟生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

濟
生活困窮者を
すく
濟う

生
医療で地域の
いのち
生を守る

40都道府県
全職員 約63,000人

会
会を挙げ、医療・
福祉の切れ目ない
サービス



Contents

フロアガイド	3	心臓血管センター	11
医療機器設備	5	各種センター	12
診療特色	7	地域連携	13
がん治療センター	9	基本理念・基本方針・沿革・概要	14



Floor Guide

フロアガイド

こちよく機能的 患者が主役の環境づくりを目指して

患者が常に安心できる、信頼とやすらぎのある空間づくりこそ当院の使命であると、私たちは考えます。

そこで救急医療から福祉医療に至る幅広い診療科目に対応できる機能的かつ、患者に快適な院内環境を整えています。



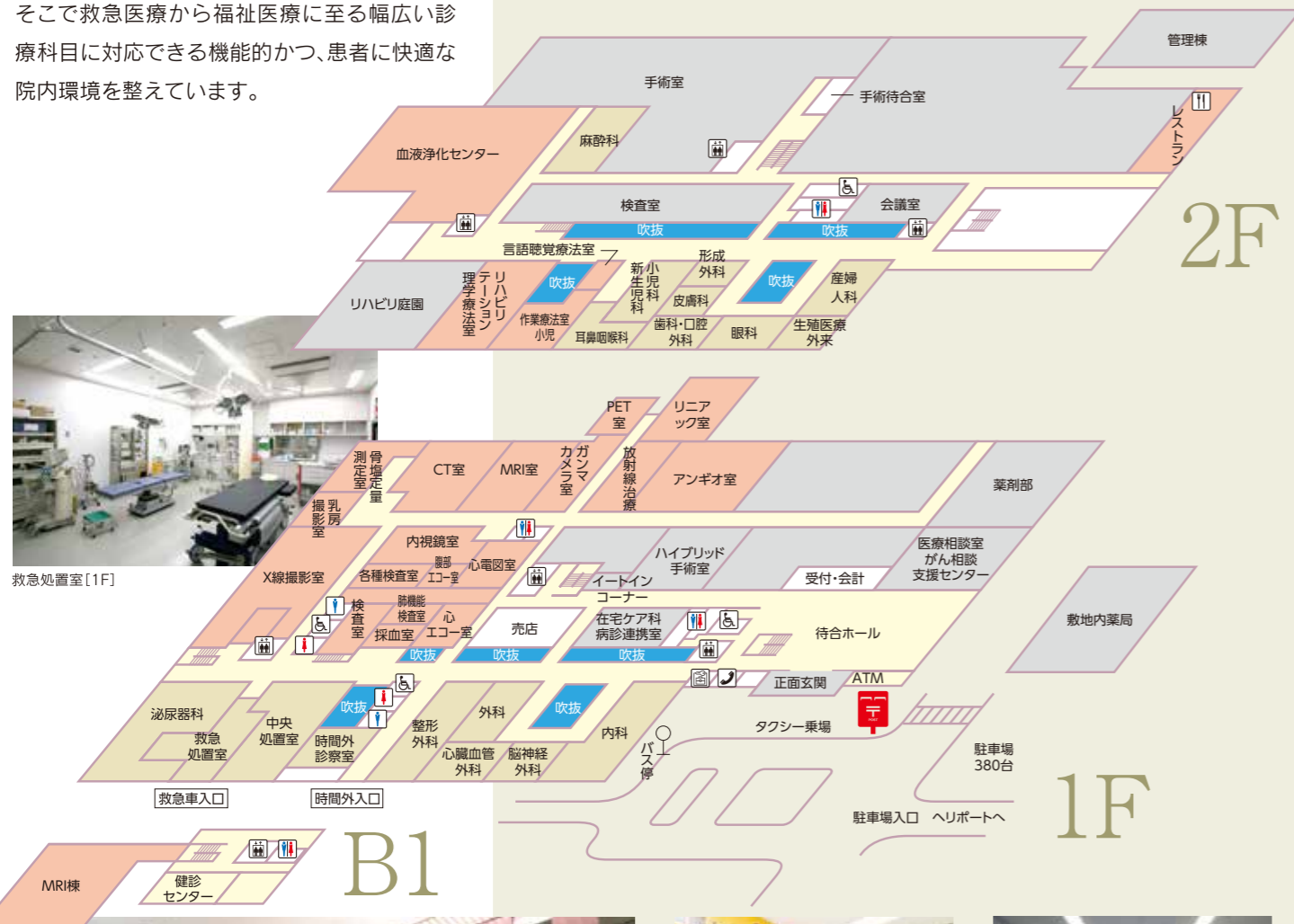
リハビリ庭園



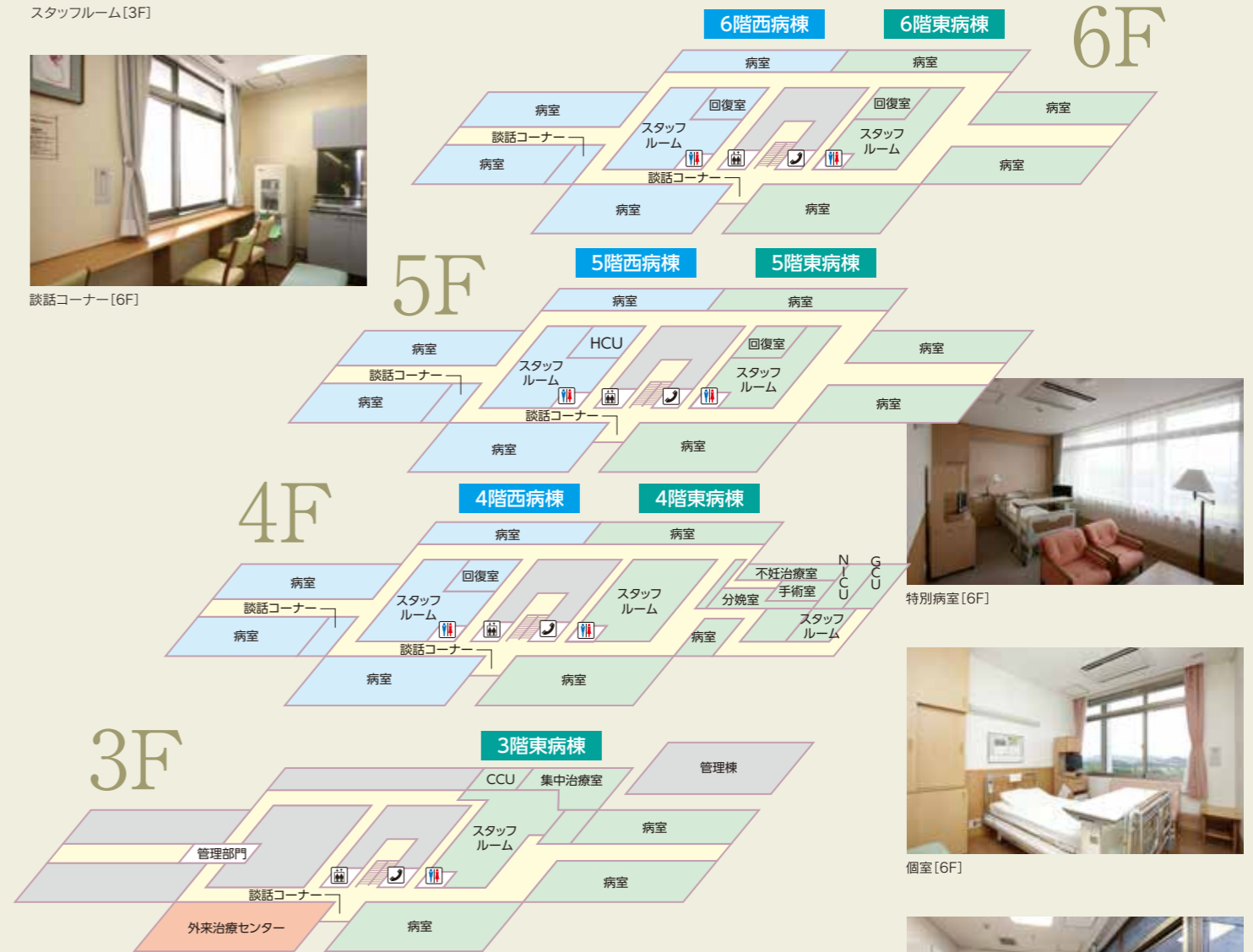
スタッフルーム[3F]



屋上スカイガーデン



救急処置室[1F]



談話コーナー[6F]



特別病室[6F]



個室[6F]



談話コーナー[4F]



管理棟[3F] 講堂



総合待合ホール[1F]



外来待合[2F]



手術室[2F]



イートイン[1F]



ハイブリッド手術室[1F]



外来治療センター[3F]

Medical Equipment

医療機器設備

より安全に、より精密に
最新の機器が常に活躍しています

日々進化する医療界にあつて、医療機器においても常に最新機器の開発・導入が求められています。

当院では、現時点で最高水準の医療機器を導入し、より高度な治療や検査を実現。確かな技術で、皆様の健康を支えてまいります。



ハイブリッド手術室

Hybrid Operating Room

大画面のモニターと最新の超音波画像装置を備えて、高度な心臓血管手術を更に低侵襲で行うことが可能となります。手術は正面の大画面モニターを見ながら行い必要に応じて血管造影検査、超音波画像検査を組み合わせ治療します。

導入された最新の血管造影装置は国内の病院では3番目、連動する超音波装置は国内初です。ハイブリッド手術室は山口県西部では山口大学病院に次いで2か所目となります。



CT (64列) Computed Tomography

マルチスライスCT装置

従来のCTに比べ、短時間で全身の撮影かつ精度の高い検査を可能にする最新のマルチスライスCTを導入。体の縦・横などあらゆる方向の断面が撮影でき、小さな腫瘍や血管形態の異常を早期に発見できます。



PET Positron Emission Tomography

全身用ポジトロンCT

がん検診において期待される注目の次世代診断機器です。当院では高分解能と短時間検査を兼ね備えたPETシステムです。



最新の医療設備と確かな技術



MRI (3.0 テスラ) Magnetic Resonance Imaging

磁気共鳴画像診断装置

頭部や脊椎・膝・肩・股関節においてあらゆる方向から精度の高い画像が得られます。従来では困難であった胸部や腹部における疾患に対しても撮影が可能になりました。



LINAC Linesr Accelerator

リニアック

CT等で得たデータをもとに腫瘍などの局部に放射線をあて、がんなどの治療に威力を発揮する体幹部定位放射線治療が可能な装置です。当院では最新の機器を設置することにより、常に安全性の高い、最高水準の治療を実現することができます。



RI Radio Isotope

ガンマカメラ装置は患者さんに放射性医薬品を投与し、体内から放出されたガンマ線を信号として受け止め、コンピュータ処理し画像化する装置です。この画像をシンチグラフィあるいはシンチグラムと言います。また、スペクト (SPECT) 撮影法と呼ばれる体の輪切りの断層像も撮影できます。



ANGIO Angiography

血管造影

2方向同時撮影が行える心臓血管造影システム。心筋梗塞や心不全など重度の疾患に有効で質の高い診断が可能です。

Medical Treatment Features

診療特色

高い専門性と 各部門による連携

現代社会に必要とされる救急や専門医療、健診部門を強化。総合病院の機能をより高めるために、専門性が高い医師・看護師等医療チームがひとつになり、各部門が互いに連携しつつ、スムーズかつ確かな医療に取り組んでいます。



山口大学救急部、ドクターヘリとの合同訓練



救急隊と当院DMATチームによる合同訓練



救急部 Emergency Department

緊急性の高い重症患者等を受け入れる二次救急医療、小児救急医療の拠点としてヘリポートを完備し、速やかで高度な救急医療を提供しています。



マイクロサージャリー

マイクロサージャリー、手関節鏡手術

Microsurgery & Arthroscopy in Hand Surgery

当院、整形外科では年間800例を超える上肢の外科の手術を行っています。指先から肩へ及ぶ様々なケガ・病気に対し、マイクロサージャリー（顕微鏡を使った手術）や関節鏡手術（関節にカメラを挿入して行う手術）を駆使した治療が可能です。国内外にて学会・論文発表を行い、高い評価を受けています。



手関節鏡手術

脊椎内視鏡

Spine Endoscope

腰椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症などに対する脊椎手術の低侵襲化のために3種類の脊椎内視鏡を常備しています（直径16ミリのMED、直径8ミリのFED、直径7ミリのFED）。手術は日本整形外科学会の脊椎内視鏡下手術・技術認定医が行っています。



画像下治療

Interventional Radiology

X線透視下にカテーテルを目的部位に挿入して、様々な低侵襲治療（IVR；画像下治療）を行っています。産科出血や咯血、消化管出血、外傷にて血管を塞栓して止血したり、癌の栄養動脈に抗癌剤を注入することもあります。内臓動脈瘤のコイル塞栓術、胃静脈瘤のバルーン閉塞下塞栓術（BRTO）、CTガイド下生検やドレナージも施行しています。



ガイドシース併用気管支腔内超音波断層法

EBUS-GS

EBUS-GS は外径1.4mm の細径超音波プローブにガイドシースをかぶせて病変まで誘導しEBUSにて病変に到達したことを確認後、プローブのみを抜き残したガイドシースに生検鉗子やブラシを挿入することで同一箇所でも何度でも生検や擦過が可能となります。

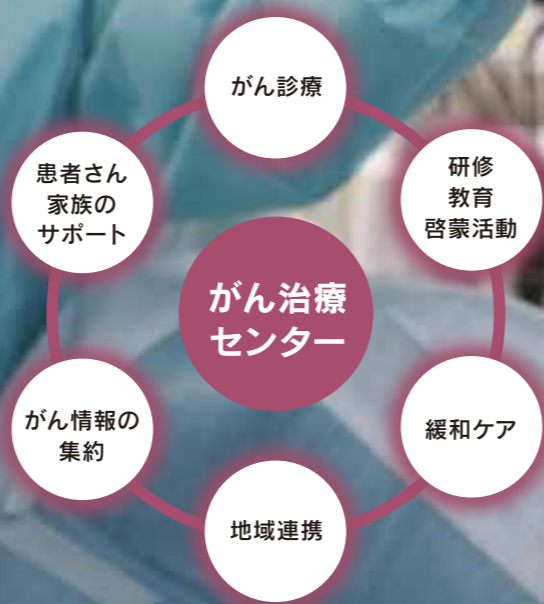


Cancer Center

がん治療センター

質の高いがん診療

各種診断をはじめ、診療科(外科・婦人科・泌尿器科・消化器内科・呼吸器内科・形成外科等)の垣根を越えた治療を実践します。



外科

外科領域でも、胸腔鏡・腹腔鏡を用いた低侵襲手術を積極的に取り入れ、ほぼ標準化しています。低侵襲手術とは、手術の質を落とすことなく実行可能な、傷が小さく痛みの少ない患者さんに優しい手術です。

泌尿器科

ロボット手術の時代を迎えた現在も多くの泌尿器疾患は腹腔鏡手術で治療され、機器の進歩と相まってさらに洗練されています。



ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術

早期の消化管癌に関しては、外科的手術ではなく内視鏡的に切除することが可能です。内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は胃では2006年に、食道では2008年に保険収載され、2012年には大腸に関してもESDが保険収載され、適応症例に対しては積極的に施行しております。



先端医療と低侵襲治療を目指して



EUS 超音波内視鏡

内視鏡に超音波検査のプローブ(探触子)がついているものが超音波内視鏡(EUS)です。観察部位の近くから高周波数の超音波をあてられるため高い識別能力の超音波観察が可能になっています。



前立腺がん密封小線源療法

前立腺がんを手術せずに治療する最新の放射線治療。小線源を前立腺に50-80個埋め込み3泊4日の入院で治療します。山口県唯一の治療施設です。



化学療法

抗がん剤を用いたがん治療で、手術や放射線治療と違い全身に効果が及びます。当院ではがん化学療法認定看護師や認定薬剤師を配置し主治医と連携しサポートを行っています。



緩和チーム

がんなどの病気に直面している患者さんとそのご家族に対して、痛みなどのからだの問題、心配・不安などのこころの問題に早い時期から対処し、生活の質を高める手段です。

Cardiovascular Center

心臓血管センター

高度で低侵襲な
心臓血管治療を実現

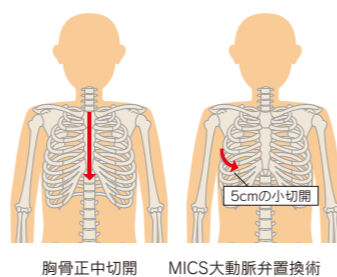


低侵襲心臓手術

MICS (Minimally Invasive Cardiac Surgery) 低侵襲心臓手術と
Wolf-Ohtsuka法
胸腔鏡下左心耳閉鎖術

当センターの心臓手術の特徴です。僧帽弁手術ではMICSを取り入れているところが多いですが、大動脈弁手術でMICSを取り入れている施設はあまりありません。全国的にみても当院でのMICS大動脈弁手術は注目されています。この手術の利点は傷が小さいことで術後の回復が早いということです。当院では2015年よりMICS僧帽弁形成術を開始し、2019年よりMICS大動脈弁置換術を行っております。

また心房細動で脳梗塞の原因となる左心耳を胸腔鏡下で閉鎖する手術Wolf-Ohtsuka法も、脳梗塞予防の手術として全国に先駆けて行っておりこれまでの手術数は西日本随一です。



ステントグラフト内挿術

胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤に対しては、低侵襲なステントグラフト治療を実施しています。ステントグラフトはこれまで手術不能と言われてきた高齢の患者さんや手術既往のある患者さんに対しても実施可能なことが多く、入院期間も1週間以内と短いことが特徴です。

当施設は以下の施設基準を満たしています。

- ・心臓血管外科専門医認定機構の基幹施設
- ・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設



Various Medical Centers

各種センター

安心・安全な医療環境を整え
全面的に支援します

高度で専門的な医療を提供。診療に関する診療科が、それぞれの枠を越えて密接な協力体制をとり、患者さんをサポートし安全で安心かつ快適な環境づくりに取り組んでいます。



周産期母子センター

Perinatal Maternal and Child Center

NICU(新生児特定集中治療室)等を備えて、合併症のある妊婦・出産の管理、また低出生体重児の救命等、専門のスタッフが母子共にサポートします。



血液浄化センター

Blood Purification Center

慢性・急性の腎不全の患者に対応できるよう、透析および各種血液浄化療法を行っています。他施設からの依頼も多く、合併症に対して幅広く対応しています。ベッド数も増やし、広くゆったりとした空間の中で、いつでも安心して治療が受けられるよう工夫しています。

Regional Cooperation

地域連携

高齢社会の地域密着型医療の拠点として

高齢者のための治療やケアこそ、これからの地域医療に欠かせません。当院では、訪問看護やかかりつけ医との病診連携など、在宅ケア支援システムづくりの中核としての役割を担うよう努力し続けます。



医療・福祉を柱として、各機能が連携することにより、最適なケアを行っています。住み慣れた暮らしの中で、安心してやすらぎのある生活が送れるよう専門のスタッフが、ご本人・ご家族と相談し一人一人にあったケアを提供、支援します。



ゆとりある療養環境と充実の各施設



レストラン



当院ロゴ入り路線バス



院内保育所



売店(ファミリーマート)

リハビリ庭園



基本理念

「心のかよう質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します

よりよき医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します

職員の協働活動のため、よりよき環境づくりを目指します



沿革

大正13年 3月 下関市長崎町に恩賜財団済生会委嘱による下関診療所開設
昭和14年 4月 下関市上田中町に病床数50床の下関病院開設
昭和34年 3月 下関市新町に病床数119床で新築移転
昭和42年 5月 中央棟を増設、病床数175床となる
昭和48年 4月 中央棟を一部増築、病床数225床となる
昭和52年 3月 外来棟を増築、既設棟を改築、病床数300床となる
昭和55年 9月 地下1階を増築、病床数350床となる
昭和59年 8月 周産期母子センター 23床増床し、病床数373床となる
平成12年 4月 居宅介護支援事業所を開設
平成15年 4月 臨床研修指定病院の許可
平成17年 4月 下関市安岡町に新病院を新築移転
平成19年 5月 日本医療機能評価機構認定を取得(Ver.5.0)
平成21年 4月 DPC対象病院へ移行
平成21年 6月 院外処方へ完全移行
平成22年 8月 新管理棟完成
平成23年11月 地域医療支援病院の承認
平成23年12月 災害拠点病院の指定
平成24年 5月 日本医療機能評価機構認定を取得(Ver.6.0)
平成27年 4月 地域がん診療連携拠点病院の指定
平成29年 5月 日本医療機能評価機構認定を取得(3rdG)
令和 2年 4月 事務薬局棟完成

概要

名称 山口県済生会下関総合病院
所在地 山口県下関市安岡町8丁目5の1
病院長 森 健治
病院開設年月日 昭和34年3月31日
救急病告示 昭和40年2月23日
施設認定 救急告示病院、輪番制2次救急指定病院、地域小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院
施設概況 半地下1階・地上6階建 塔屋1階
本体延床面積 24,586.24㎡
管理棟 904.15㎡
保育所・保管棟 1,036.01㎡
敷地面積 55,759.69㎡
外来駐車場 380台
診療科目 30科
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、膠原病内科、心血管外科、脳神経外科、整形外科、外科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、小児科、小児外科、形成外科、美容外科、麻酔科、肛門外科、放射線科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、緩和ケア内科、病理診断科、神経内科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科
許可病床 373床(一般病床)
内、有料個室 65床
施設基準認定 NICU、HCU、GCU

特色

- 二次緊急医療(ドクターヘリ受入施設)
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 地域小児救急医療拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 血液浄化センター
- 心血管センター
- 健診センター
- 在宅ケア・病診連携・医療相談
- 災害拠点病院(山口県DMAT指定病院)

認定施設

- 保険医療機関指定病院
- 救急告示病院
- 労災保険指定病院
- 公務災害指定医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 自立支援医療指定医療機関
- 肝がん・重度肝硬変治療特別促進事業指定医療機関
- 母体保護法指定医療機関
- 助産施設指定病院
- 養育医療指定病院
- 特定疾患治療研究委託機関
- 小児特定疾患治療研究委託医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 協会けんぽ 生活習慣病予防健診指定機関
- 臨床研修指定病院
- 小児救急医療拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- DPC対象病院
- 災害派遣医療チーム(DMAT)
- 地域医療支援病院
- 山口県災害拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院

学会認定

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション学会認定研修施設
- 心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 呼吸器外科専門医認定機構関連施設
- 日本整形外科学会認定医制度研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関
- 日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度認定研修施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設
- 日本麻酔科学会麻酔指導病院
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本気管食道科学会研修施設
- 日本手外科学会認定研修施設
- 日本人間ドック学会優良二日ドック施設
- 日本人間ドック学会専門医制度研修関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- 日本不整脈心電図学会認定不整脈専門医研修施設
- 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
- 生殖医療専門医制度研修連携施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本歯科口腔外科認定准研修施設
- 胸部ステントグラフト実施施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 遺伝性乳癌卵巣癌総合治療協力施設

